

みどりの

題字 寺 門 光 輝

みどりの第94号

発行所 茨城キリスト教大学
茨城県日立市大みか町
6丁目11番1号

発行者 東海林 宏司
編集 地域・国際交流センター



二〇二五年夏現在の
本学の様子をお知らせ
するにあたって、昨年
掲げた目標を振り返り、
現状その達成状況がど
のようであるかをご報
告していきたいと思ひ
ます。

つながり続ける大学を目指して この一年の歩み

学長 東海林 宏司

第一に掲げた目標は、大学内部のコミュニティや、大学と学園内中学・高校・こども園との関係を再構築することでした。コロナ禍がほぼ終息し、業務以外でも教職員の交流の機会は増えました。ゼミの懇親会など、学生と教職員が交流する機会も続々と復活しています。高校の探究活動に大学が協力する動きも出てきています。海外からの交換留学生がこども園に出かけていき、園児と異文化交流する機会を提案したところ、地域・国際交流センターの協力を得て、「せかいを知ろう」というイベントとして結実しました。このイベントは単発ではなく定期的に実施され、園児も楽しんでいっていると聞いています。昨年十二月に「キッチンカー・トライアル」と称して試験的にキッチンカーを呼んでみたところ、大変好評で長蛇の列ができ、アンケートでの評価も高かったことを受け、今年度からは週二回、二台のキッチンカーがキャンパスに登場することになりました。これからも大学・学園が「良きコミュニケーション」であり続けるよう、努めていきます。

第二の目標は、「つながる大学」という本学の強みを取り戻すことにより、研究・教育・社会貢献の原点に立ち返り、地域社会の中での本学の存在

感を強めていくことでした。食物健康科学科の学生を中心とした「アイデア・メニュー開発クラブ」は、以前から地域の食材を使ったユニークなメニューを開発してきました。二〇二四年度には、同クラブメンバーを中心とした食物健康科学科有志が地域の水産会社（飛勘水産様）とのコラボにより、日立の鯖を使った「鯖そぼろバーガー」を開発。売り出せば即売り切れという人気メニューでした。同クラブは学園生協ともコラボし、学食メニューも開発しています。今後の新メニューも楽しみです。本学は三月に隣接自治体である東海村とも連携協定を結びました。学生が地域から得る学びは大きく、その機会が増えたのは喜ばしいことです。今後本学は、学生・教職員による地域貢献をますます深めていきます。

第三の目標は、DX(digital transformation)でした。学生に対してのBYOD(Bring Your Own Device)方針は強まり、教材のペーパーレス化は進展しています。教職員の会議等におけるペーパーレスもほぼ定着しました。ペーパーレスには印刷時間の削減だけでなく、資源の節約という意味合いもあります。今年度は次なるDXの推進を実現すべく、事務組織として「DX推進室」を設置することが理事会で認められました。これにより、教育・研究・学生指導・業務におけるデジタル活用をもう一段階推進する体制を整えることができました。DXにより省力化できることはできるだけ省力化することが、教職員が学生にしっかりと向き合える時間を増やすことにつながります。

第四の目標は、本学の国際交流を新たな角度から見直し、インドの大学との交流も検討してい

くということでした。昨年度はインドの情報収集に着手しましたが、残念ながらこの目標は進展していません。もともと、既存の海外大学との交流は活性化しており、今年度も多数の交換留学生や短期留学生を迎えています。昨年度はオクラホマ・クリスチャン大学との交流五十周年を迎え、記念行事を本学で実施しましたが、今年度はベトナムのホーチミン・テクノロジー大学の創立三十周年記念行事に招待されました。このような機会を通じて、提携大学との交流をいっそう深めることができました。

二年後の二〇二七年には、学園は八十周年、大学は六十周年を迎えることになります。地域に信頼される学園・大学であり続けるよう、たゆまぬ努力を続けていく所存です。卒業生の皆様の変わらぬご支援も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

我が学園の教育理念



茨城キリスト教学園は
キリスト教の精神に基き、
謙虚に真理を追求し、
公正を尊び、真の隣人愛をもって
人と社会に進んで奉仕し
人類の福祉と世界の平和に貢献する
人間の育成を目的とする

グーテンベルク聖書復刻版

学校法人茨城キリスト教学園
キリスト教センター所蔵

キリスト教センター便り

キリスト教センター長 野口 良哉

モアヘッド記念館を

ご存知ですか？

～学園創立の飲水思源に向けて～

昨年二〇二四年は、「キアラ館」の竣工五十周年という記念すべき年でした。そして、今年二〇二五年は、実は大学八号館の裏手にひっそりと佇む「モアヘッド記念館」にその名を冠する宣教師B・D・モアヘッドの来日一〇〇周年に当たります。ということで、昨年の「キアラ館」に続き、今年（二〇二五年）は、あまり知られていない「モアヘッド記念館」に光を当ててみたいと思います。



モアヘッド記念館



B.D.モアヘッド宣教師

ところで、「モアヘッド記念館」は元来、常陸太田市に建てられた宣教師住宅で、最初に「学園の種まき人」の一人とも言えそうなB・D・モアヘッド宣教師家族が、続いて学園に深い関わりのあるハリー＆ローガンの「ファックス・ブラザーズ」の父H・R・ファックスS・E宣教師家族が、そして、学園初代理事長を務めたO・D・ビクスラー宣教師家族が、やがて学園第八代理事長を務めた繁國良八伝道者家族が居住されたことが分かっています。

その後、その建物は学園に移築され、初代短期大学学長、学園第二代総長を務めたローガン・ファックス先生家族が住んだ後、短期大学の家政科「実習館」として使用されてきました。そして、現在は学園のゲストハウスとして使われています。

なお、「モアヘッド記念館」について、より詳細な記事が学園資料センターの機関紙「カイロス」一〇号（二一三頁）に掲載されていますので、関心のある方は学園資料センターまでお問い合わせください。

さて、中国の故事成句の一つに「飲水思源」という四字熟語があります。読んで字の如く、水を飲んだなら、その源である井戸を掘ってくれた人の働きを思い巡らし感謝せよ、との意味だそうです。ぜひ、今年二〇二五年は、そんな「モアヘッド記念館」を眺めながら、「飲水思源」して、学園の種まき人たちが創立者たちの働きに思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

なお、まだ、詳細は未定ですが、本年十一月頃（おおよそ学園祭・創立記念日辺り）に、学園キリスト教センターと学園資料センターが共催で、「モアヘッド記念館」に関する歴史資料展示の開催を計画しております。これに関しては学園キリスト教センターまでお問い合わせください。

地域・国際交流センター便り

大学一号館五階にウォーターサーバーを設置しました。ご利用の方はマイボトルをご持参ください。

二〇二四年度卒業生

(二〇二五年三月卒)の

就職状況報告

キャリア支援センター長代行 小泉 美智子

二〇二五年三月に卒業した学部学生五八一名（文二六六名、生二四六名、看八三名、経八六名）の就職状況は、左記のようになりました。

二〇二五年五月一日現在

○就職希望者数…五四七名

○就職希望率…九四・一%

○内定率…五四四名

○内定率…九九・五%

○就職率…九三・六%

○未内定者数…三名

○未内定率…〇・五%

○進学者数…二二名

○在家庭者数…二二名

二〇二四年度卒業生の就職先を産業分類別に見てみると、

【大学全体】トップ5

①「医療、福祉」二九・二八% ②「卸売業、小売業」一五・八四% ③「教育、学習支援業」一四・三六% ④「情報通信業」八・四七% ⑤「公務」六・六三%

【学科別】トップ3

現代英語学科…①「卸売業、小売業」二五・七六% ②「教育、学習支援業」一三・六四% ③「情報通信業」一〇・六一%

児童教育学科…児童教育専攻…①「教育、学習支援業」八五・〇〇% ②「卸売業、小売業」二・医療、福祉」五・〇〇%

児童教育学科…幼児保育専攻…①「医療、福祉」六七・八〇% ②「教育、学習支援業」六・七八%

③「卸売業、小売業」金融業、保険業」五〇・八%

文化交流学科…①「卸売業、小売業」二二・二二% ②「情報通信業」二二・七〇% ③「公務」九・五二%

心理福祉学科…①「医療、福祉」三二・二五% ②「卸売業、小売業」二五・〇〇% ③「公務」一一・五〇%

食物健康科学科…①「卸売業、小売業」二六・七

六% ②「医療、福祉」二二・一三% ③「宿泊業、飲食サービス業」一五・四九%

看護学科…①「医療、福祉」九五・〇〇% ②「公務」三二・七五% ③「教育、学習支援業」一・二五%

経営学科…①「情報通信業」二八・四〇% ②「卸売業、小売業」一七・二八% ③「金融業、保険業」一六・〇五%という結果になりました。

二〇二四年度卒業生の就職内定率は九九・五%となりました。公務員試験では、公務員試験対策室との密な連携と手厚い支援により、四五名の現役合格者を輩出しました。教員採用試験では、就職支援センターによる充実した指導のもと、九三名のうち現役合格者八二名が合格を果たしました。

近年の就職活動は、「早期化」と「長期化」が顕著な傾向として定着しつつあります。企業の人材獲得競争が激しさを増す中、本学でも早期から多くの学生が内定を得ており、二〇二五年度もこの傾向に変化は見られません。人手不足の影響により、優秀な学生を早期に確保したい企業と、いち早く内定を得て安心したい学生との双方にとって、インターンシップの重要性がますます高まっています。このことが、就職活動の「早期化」と「長期化」にさらなる拍車をかけています。

また、本学に限らず、現在の大学には多様な背景を持つ学生が在籍しており、コミュニケーションが得意でない学生も増加傾向にあります。就職活動では、言葉だけでなく対人スキルが重視される傾向が強まっており、いわゆる「グレイゾーン」とされる学生にとっては、活動が困難になるケースも少なくありません。こうした学生には、学内はもとより外部機関とも連携し、きめ細やかな支援を行っております。

キャリア支援センターでは、今後とも学生一人ひとりが自らのキャリアを主体的に描き、納得のいく進路を選択できるような、多様な経験の機会を提供し支援してまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



キャリア支援センター主催「インターンシップ準備講座」の様子

二〇二四年度（令和六）決算報告

学校法人の会計は、公共性の高い教育研究

（三）活動区分資金収支計算書

学校に入ってきた事業活動収入が、事業活動支出によって学生にどれだけ還元できているかをみることができます。二〇二四年度の事業活動収入は五〇億九〇四万七千円、事業活動支出は五〇億二四四万九千円でした。よって基本金組入前当年度収支差額(いわゆる黒字幅)は六六〇二万八千円となりました。

年度末における学校法人の財政状態を示しています。二〇二四年度末時点の固定資産は、対前年一億三一八〇万九千円増の一億五億五八五万八千円、資産の部は二〇八億八千四百一十万円、負債の部は二億八千七百六十六万円、純資産は一億九千九百六十六万四千円で、前年度より六六〇万八千円増加しました。

学園全体における人件費比率は六一・三％、教育研究経費比率は二九・二％、管理経費比率は七八％、事業活動収支差額比率は一三・一％となりました。

※決算報告については、

は、六億六
六一万一千
円の資金を
得ました。活
動では、学園
中期経営計
画に基づく
施設整備等
を進めた。結
果、七億五
千四百二十
七万九千円
の支出超過
となりました。
具体的には
大学十一号



二〇二四年度 学園寄附事業報告

茨城キリスト教大学
寄附事業委員会

二〇二四年度、皆様からご支援いただきました寄附は、三三三件、一、〇七〇万六、五二三円となりました。寄附件数・金額とも前年度とほぼ同数となり、年間目標の一、〇〇〇万円を達成できました。皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

「教育振興資金」をはじめとするご寄附により、昨年度も様々な寄附事業を実施いたしました。大学においては「ICC未来サポーター基金」により、十一号館一階スチューデント라운ジのイスやテーブル等の追加設置を行いました。さらに、学生がチャペルで利用する「キアラ館」では、「キアラ館基金」を活用し、キアラ館入口付近に花台を設置し、キャンパスライフの向上を図りました。

また、「ICCグローバル人材育成奨学金」を活用し、海外からの留学生一七名に対し総額二六二万円の奨学金を支給しました。一方、交換留学等に参加する本学学生一七名に総額一二〇万円の奨学金を給付し、国際交流を実践する学生を支援しました。昨年度は円安、物価高騰により留学生にとっては厳しい経済状況でしたが、この給付型奨学金のおかげで充実した留学ができたようです。なお、このICCグローバル人材育成奨学金は、本やDVD、貴金属、ブランド品などをリサイクルし、寄附をする「リサイクル募金」の制度もご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。ご寄附係までお問い合わせください。

学生の皆さんが充実したキャンパスライフを送り、社会で活躍できるよう寄附事業に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



寄附サイト

ICサポーターの活躍

入試広報部長 岩崎 和

入試広報活動をしていると、高校の先生方や高校生、そして保護者のみなさまから素朴に「茨城キリスト教大学(以下、ICC)に通うとどんな人になれるのか?」「ICCらしさ?」「ってどんなところにあるのか?」といった質問をお受けすることがあります。そうした際、私たち入試広報部ではオープンキャンパスに足を運んでもらえるようお勧めしています。なぜなら、そこには、ICCらしさを最もダイレクトに、そして生き生きと伝えてくれる「ICサポーター」(名簿登録者数・二〇二五年六月時点でおよそ五〇〇名が居るからです。

二〇〇一年より導入されたICサポーター制度は、当初入試広報機会の受付や誘導といった限定的なサポーターから、現在は高校生や保護者に向けたさまざまな企画を担い、展開するといった入試広報活動全般の発展的なサポーターへと移行しています。

このため、入試広報イベント当日には、ICカラーのTシャツを着て活躍してくれているICサポーターたちが、その準備期間の段階から忙しい学業とバイト等の合間を縫いながら、スタッフとともにその運営を助けてくれています。こうした裏方で見えにくい業務か



「ともに、いきる。」を実現する大学

茨城キリスト教大学 2026年度入試日程

試験区分	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜入試1期(文・生・看・経)	9/1~9/25	10/11	11/4
総合型選抜入試1期(未来教養学環)		10/18	
総合型選抜入試2期	11/25~12/5	12/13	12/17
学校推薦型選抜入試 (指定校推薦・一般推薦・地域特定推薦)	11/1~11/7	11/15	12/1
一般選抜入試1期	1/7~1/21	2/3	2/12
一般選抜入試2期	2/4~2/19	3/3	3/7
共通テスト利用入試1期	1/7~1/23	1/17・1/18	2/13
共通テスト利用入試2期	2/20~3/5		3/13
社会人・帰国子女・外国人留学生入試	10/1~10/10	10/18	10/24
一般編入・転入・学士入試(10月期)	10/1~10/10	10/18	10/24
一般編入・転入・学士入試(3月期)	2/16~2/27	3/7	3/13
大学院入試I期	10/1~10/10	10/18	10/25
大学院入試II期	2/16~2/27	3/7	3/13

※総合型選抜入試1期・2期、一般選抜入試1期、共通テスト利用入試1期、一般編入・転入・学士入試(10月期)、外国人留学生入試学費延納期限: 3/25(水)

※一般編入・転入・学士入試、外国人留学生入試および大学院入試に出願希望の方は、出願期間前の事前相談が必要です。

■文学部

現代英語学科
児童教育学科
(児童教育コース)
(幼児保育コース)
文化交流学科

■看護学部

看護学科

■生活科学部

心理福祉学科
食物健康科学科

■経営学部

経営学科

■未来教養学環

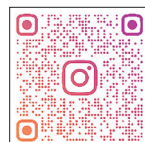
■大学院

文学研究科
英語コミュニケーション専攻
生活科学研究科
食物健康科学専攻
心理学専攻
看護学研究科
看護学専攻

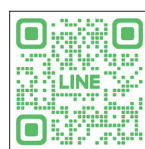
お問合せ先

入試広報部 電話0120-56-1890

E-mail:nyushi@icc.ac.jp 本学公式サイト <https://www.icc.ac.jp/>



Instagram QR



LINE QR

SNSにて在学生の活躍やイベント情報を発信中!

ら、入試広報イベント当日の慌ただしい中でも爽やかにその運営を助けてくれるICサポーターの姿は、ICCが養成したい学生像、地域人材そのものを体現していると思います。毎回、入試広報イベントを終えた後に行う親子向けアンケートでは、このICサポーターの細やかな気遣いや真摯で誠実な対応への感動と感謝が具体的なエピソードとともに報告されています。

令和の高校生たちにとって「こう在りたい」と思っているこのICサポーターたちの雰囲気や一つ一つの所作など、これら全体が、ICCらしさそのものだと思います。ICサポーターたちと一緒に仕事をしたり、何かを創り上げていくプロセスをともにするなかで、たぶん一〇年、二〇年前のICサポーターたち

もきつと同じ「ICCらしさ」を持つていたであらうことや、彼らが共通して持つこの「ICCらしさ」を令和の現代にも大切にしていきたいと思っています。お忙しいなかとは思いますが、ぜひに入試広報イベントにご参加いただき、彼らとの交流を通じて茨城キリスト教大学を体験してください。そして、再発見していただけた体験を彼らや私たちと共有していただけますと幸いです。